

凍霜害 被害園地は、樹全体で着果量の確保を

4/6 から 4/11 にかけて低温遭遇し、南部地域中心に凍霜害が確認されております。
 特に被害が大きい園地は、結実確定後、樹全体で着果量を確保するよう努めて下さい。（詳細は次ページをご覧ください）また、今後も気象情報に十分注意し、防霜対策に備えて下さい。

1. プラム
 【第4回 定期防除】
 対象病害虫：黒斑病、ケムシ類、シンクイムシ類、アブラムシ類

散布時期	・ 4月下旬～5月初旬（第3回定期散布（落花後）から10日後）		
散布薬剤	水 100ℓ当り 展着剤 10mℓ サムコルフロアブル 10 40mℓ（3日前、3回） ウララDF 50g（7日前、2回） マイコシールド 50g（21日前、3回）		散布日 月 日 散布量 ℓ
散布量	10aあたり 400ℓ		
注意事項	5月末までの農薬散布は葉・果実ともに軟弱なため、時間帯・薬液量等、十分注意する。		

2. プルーン

プルーンの第3回定期防除は、次号（4月末発行、プラム・プルーン特報No.5）に掲載します。

次ページも必ずご覧ください

3. 凍霜害に遭い、結実が悪い場合の対応

- とりあえず予備摘果を行わず、樹全体で着果量を確保する。
- 1果そうに2果結実している場合でも摘果せずに、着果量を確保する。
- かん水を実施する。

4. 「毛バタキ」の保管方法について（授粉期間終了後）

- ① 毛バタキに残った花粉やホコリ等を十分に掃除する。
 - コンプレッサーがあれば、エアーの力で残った花粉やホコリ等を掃除する。
 - 中性洗剤、ぬるま湯で軽くもみ洗いし、よく濯ぐ。
- ② 直射日光を避け、「日陰干し」を行ない、十分乾燥させる。
 - 直射日光に当てると繊毛（センモウ）がくっ付いてしまいます。
- ③ 密封が可能な袋や箱に毛バタキを入れ、市販の防虫剤を入れてから密封し、湿気のない場所で保管する。（高温多湿を避ける）